

北九州都市計画緑地の変更（北九州市決定）

1. 都市計画緑地10号浅野町緑地を次のように変更する。

種 別	名 称		位 置	面 積	備 考
	番 号	緑 地 名			
緑地	10	浅野町緑地	北九州市小倉北区 浅野三丁目	約0.4ha	広場、植栽等

「区域は計画図表示のとおり」

理 由 別紙のとおり

## 都市計画緑地の変更の理由書

### 1. 位置及び周辺状況

現在の浅野町緑地は、小倉駅新幹線口の北東側に位置し、砂津川河口付近の国道 199 号と国際会議場を結ぶ鉄道の引き込み線の跡地を活用して整備した緑道である。平成 10 年に現在の JR 小倉駅が再整備されるまでは、小倉都心部と海岸部を結ぶ、憩いの散歩道や開放的な緑道として機能していた。しかし現在は、商業ビルや立体駐車場に囲まれ、暗いイメージの緑道となっている。

### 2. 経緯

昭和 53 年 10 月 北九州市告示第 297 号により都市計画緑地として決定

### 3. 変更理由

浅野町緑地は、現在、緑道の形状をしているが、国道 199 号バイパスの開通に伴い、平成 10 年に緑道の中央が南北に分断され、連続性が阻害されている。また、JR 小倉駅の再整備と合わせて AIM 及び西日本展示場等を結ぶペDESTリアンデッキが整備されたため、歩行者の動線が、小倉駅を中心とする南北の通路に移り、現在の緑道の利用者は減少し、当初の緑道の機能を失った状態となっている。

また、上位計画である北九州市基本構想・基本計画において小倉都心部は、「新球技場の整備を契機としたにぎわい創出を図る」としている。これに基づき策定された都心集客アクションプランでは、「新幹線口エリアの魅力づくりやポテンシャルの向上に加え、歩行者が安全・快適に回遊できるように、にぎわい施設・空間整備を行う」として新たな広場をもつ浅野町緑地を位置づけている。

このように、浅野町緑地の現状や上位計画を踏まえ、また、平成 29 年 3 月に供用予定の「北九州スタジアム」の整備を契機として、都心の各種イベント利用ができるとともに回遊性の拠点となり、都心のにぎわいを演出する広場の整備を進めていくことにしている。

そこで、緑道の形状をした浅野町緑地を、都市機能の集積化が進む浅野三丁目に、コンベンション機能と一体となった広場の形状を有する都市緑地とするため、西日本展示場の隣接地に北九州市都市計画緑地の位置の変更を行うものである。